

令和3年3月市議会定例会

福祉保健部

議案説明資料

(補正予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和3年3月福祉保健部補正予算(案)総括表	1 頁
2	富山市・医師会急患センター管理業務支援事業について	3 頁
3	富山市大沢野健康福祉センター施設管理運営事業について	4 頁
4	生活困窮者自立支援事業について	5 頁
5	生活保護事業費について	6 頁
6	自立支援給付事業について	7 頁
7	障害児通所給付事業について	8 頁
8	障害児相談支援事業について	9 頁
9	新型コロナウイルス感染症対策等事業について	10 頁

1 令和3年3月福祉保健部補正予算(案)総括表

【一般会計】

(単位：千円)

区分 予算科目(款・項)	補正前の額	今回補正額	補正後の額	備考
福祉保健部合計	43,053,791	219,823	43,273,614	
(款3)民生費	34,790,014	608,096	35,398,110	
(項1)社会福祉費	29,571,220	184,916	29,756,136	(福祉政策課) 民生事務費 2,265 新型コロナウイルス感染症対策基金費 1,831 (大沢野地域福祉課) 民生事務費 11,330 福祉奨学基金費 11,250 居宅介護等事業費 51,501 生活介護事業費 26,462 就労移行・継続支援事業費 131,271 計画相談支援事業費 30,120 老人保護措置費 △ 23,000 老人福祉施設運営費 △ 3,405 高齢者生きがい対策費 △ 17,000 介護サービス事業所等支援事業費 15,310 介護サービス事業所利用自粛協力支援事業費 △ 12,693 後期高齢者医療事業特別会計繰出金 △ 40,326
(項2)児童福祉費	1,187,033	56,784	1,243,817	障害児通所給付事業費 51,314 知的障害児通園施設費 5,470

(項3)生活保護費	4,031,760	366,396	4,398,156	生活困窮者自立支援事業費 14,484 生活保護事業費 351,912
(款4)衛生費	8,263,777	△ 388,273	7,875,504	
(項1)保健衛生費	8,201,235	△ 388,273	7,812,962	救急医療対策費 159,490 病院事業会計補助金 △ 562,470 病院事業会計出資金 △ 36,645 がん対策事業費 △ 70,304 感染症事業費 110,156 まちなか診療所事業特別会計繰出金 11,500

【特別会計】

(単位：千円)

区分 予算科目(款・項)	補正前の額	今回補正額	補正後の額	備考
後期高齢者医療事業 特別会計合計	10,925,972	207,897	11,133,869	
(款2)後期高齢者医療 広域連合納付金	10,620,375	207,897	10,828,272	後期高齢者医療広 域連合納付金 207,897
まちなか診療所事業 特別会計合計	142,594	△ 5,140	137,454	
(款1)総務費	124,792	△ 100	124,692	一般管理費 △ 100
(款2)医業費	17,802	△ 5,040	12,762	医業費 △ 5,040
国民健康保険事業 特別会計合計	33,615,751	84,638	33,700,389	
(款7)諸支出金	41,601	84,638	126,239	償還金 84,638

【救急医療対策費】

2 富山市・医師会急患センター管理業務支援事業

について

[福祉政策課]

(1) 補正額 159,490千円

〔 財源内訳 国庫補助金 159,490千円 〕

(2) 補正の目的

今年度、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、富山市・医師会急患センターの利用者数及び収入が大きく減少することが見込まれることから、管理業務に関する基本協定書に基づき、指定管理者である公益社団法人富山市医師会に対する臨時的な支援を行い、本市の初期救急医療体制を維持・確保するもの。

(3) 補正の内容

本指定管理業務において見込まれる欠損額から、積立金の取り崩しによる充当額を差し引いた分を事業継続支援補助金として交付する。

(単位：千円)

項 目	金 額
欠損見込額	219,490
積立金からの充当額	60,000
差引(補助額)	159,490

【民生事務費】

3 富山市大沢野健康福祉センター施設管理運営事業 について

[大沢野地域福祉課]

(1) 補正額 11,330千円

〔 財源内訳 一般財源 11,330千円 〕

(2) 補正の目的

大沢野健康福祉センターにおいて、市が老朽化した施設等の改修工事を行い、その期間（6月～8月）を利用者への危険性があるため臨時休館とした。本施設は利用料金制を導入している指定管理施設であることから、臨時休館中の利用料金収入の減収に伴う経常収支の不足分について指定管理委託料を補てんするもの。

(3) 補正の内容

富山市大沢野健康福祉センター施設管理運営委託料（指定管理）

11,330千円

休館期間（6月～8月）における収益と費用

	令和2年度
経常収益	25,403千円
経常費用	36,733千円
経常増減額	△11,330千円

【生活困窮者自立支援事業費】

4 生活困窮者自立支援事業について

[生活支援課]

(1) 補正額 11,900千円

財源内訳	国庫負担金	8,925千円
	一般財源	2,975千円

(2) 補正の目的

住居確保給付金について、新型コロナウイルスの影響が長期化する中、延長や再延長を申請される方が多いことに加え、国において、今年度新規申請された方に限り、延長を3回まで、支給期間を12か月まで可能とされたことなどにより、事業費が不足することから、所要額の補正を行うもの。

(3) 補正の内容

(単位：千円)

区分	補正前の額	今回補正額	補正後の額
扶助費	45,144	11,900	57,044

(4) 令和2年度住居確保給付金の支給決定件数（1月末現在）

(単位：件)

新規	延長	再延長	再々延長	合計
328	120	53	2	503

※一回の支給決定で3か月まで受給可能

【生活保護事業費】

5 生活保護事業について

[生活支援課]

(1) 補正額 331,300千円

{	財源内訳	国庫負担金	248,473千円
		一般財源	82,827千円

(2) 補正の目的

生活保護世帯の増加に伴い、生活扶助や医療扶助等の扶助費が不足することから、所要額の補正を行うもの。

(3) 補正の内容

(単位：千円)

区分	補正前の額	今回補正額	補正後の額
扶助費	3,744,960	331,300	4,076,260

(4) 生活保護世帯・受給者の推移

	生活保護世帯数 (世帯)	生活保護受給者数 (人)
平成30年度(3月末現在)	1,749	2,011
令和元年度(3月末現在)	1,847	2,117
令和2年度(1月末現在)	1,992	2,293

【自立支援給付事業費】

6 自立支援給付事業について

(居宅介護等事業、生活介護事業、就労移行・継続支援事業、計画相談支援事業)

[障害福祉課]

(1) 補正額 239,354千円

[負担割合 国庫負担金 1/2、県負担金 1/4、一般財源 1/4]

(2) 補正の目的

障害福祉サービスに対するニーズの高まりを背景に、年々利用実績が増加しているため、不足する事業費について増額するもの。

(3) 補正の内容

(単位：千円)

区 分		補正前の額	今回補正額	補正後の額
扶助費		4,710,773	239,354	4,950,127
内 訳	居宅介護等事業	468,710	51,501	520,211
	生活介護事業	1,926,685	26,462	1,953,147
	就労移行・継続支援事業	2,209,200	131,271	2,340,471
	計画相談支援事業	106,178	30,120	136,298

(4) 利用実績

		30年度	元年度	2年度(見込)
居宅介護等事業	年間利用時間	106,261	111,628	114,048
	決算額(千円)	438,561	462,615	520,211
生活介護事業	年間利用日数	200,470	200,628	214,318
	決算額(千円)	1,852,815	1,899,375	1,953,147
就労移行・継続支援事業	年間利用日数	289,863	300,324	312,216
	決算額(千円)	2,055,850	2,173,287	2,340,471
計画相談支援事業	年間利用回数	5,478	7,412	9,209
	決算額(千円)	85,081	108,934	136,298

【障害児通所給付事業費】

7 障害児通所給付事業について

(児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業)

[障害福祉課]

(1) 補正額 51,314千円

[負担割合 国庫負担金 1/2、県負担金 1/4、一般財源 1/4]

(2) 補正の目的

障害児支援のサービスに対するニーズの高まりを背景に、年々事業所数及び利用日数等が増加しているため、不足する事業費について増額するもの。

(3) 補正の内容

(単位：千円)

区 分		補正前の額	今回補正額	補正後の額
扶助費		921,125	51,314	972,439
内 訳	児童発達支援事業	60,310	27,000	87,310
	放課後等デイサービス事業	860,815	24,314	885,129

(4) 利用実績

		30年度	元年度	2年度(見込)
児童発達支援 事業	事業所数	33	35	39
	年間利用日数	4,160	5,037	7,313
放課後等デイ サービス事業	事業所数	50	52	58
	年間利用日数	75,884	87,579	98,450

※事業所数は、3月末時点

【知的障害児通園施設費】

8 障害児相談支援事業について

[障害福祉課]

(1) 補正額 5,470千円

[負担割合 国庫負担金 1/2、県負担金 1/4、一般財源 1/4]

(2) 補正の目的

放課後等デイサービス等の利用需要の増加に伴い、計画相談の利用者が増加したことにより、事業費が不足することから、所要額の補正を行うもの。

(3) 補正の内容

(単位：千円)

区分	補正前の額	今回補正額	補正後の額
委託費	10,816	5,470	16,286

(4) 利用実績

		30年度	元年度	2年度(見込)
障害児相談 支援事業	延利用者数(人)	417	787	1,071
	事業費(千円)	6,819	12,551	16,286

【感染症事業費】

9 新型コロナウイルス感染症対策等事業について

[保健所保健予防課]

(1) 補正額 110,156千円

財源内訳	国庫負担金	47,336千円
	一般財源	62,820千円

(2) 補正の目的

新型コロナウイルス感染症の感染者が見込みより大幅に増加しており、PCR検査費用や入院費用の公費負担分にかかる経費等を要求するもの。

(3) 補正の内容

ア. PCR検査委託料 委託料71,690千円
富山県衛生研究所、医師会PCRセンター、帰国者接触者外来への検査委託分

当初見込み	実績（見込）	補正額
165,240千円 (10,800件)	236,930千円 (19,000件)	71,690千円 (8,200件)

イ. 入院費及びPCR検査料（保険適用分）の公費負担 扶助費36,282千円

	当初見込み	実績（見込）	補正額
入院費	114,750千円 (8,500日)	103,346千円 (13,600日)	36,282千円
PCR検査費 (保険適用分)	—	47,686千円 (12,600件)	

ウ. 国保連等審査手数料 手数料1,844千円

当初見込み	実績（見込）	補正額
47千円	1,891千円	1,844千円

エ. 令和元年度感染症予防事業費等国庫負担金返還金 償還金 340千円